



JCS NEWS

日本チェロ協会会報 第7号 (1999年6月14日 発行)

1999年度 第1回 日本チェロ協会 評議委員会 報告

1999年4月18日(日)18時から、お茶の水スクエアC館応接室にて、今年度第1回目の評議委員会が開かれました。堤剛、堀了介、苅田雅治、倉田澄子、斎藤建寛、山崎伸子、児玉真(敬称略)が出席、98年度決算、99年度の活動案、予算案が話し合われ、承認されました。詳細は以下の議事抄録をご覧ください。(事務局)

議事抄録

1. 大阪でのチェロサロンについて

- ・5月16日のチェロサロンをAPAとの共催で行うこと了解。

2. 98年度決算の承認

※別掲決算書をご覧ください。なお、スケジュールの都合上、会計監査はこの評議委員会より後に行われました。評議委員会では決算を仮承認し、監査の終了を持って正式承認といたしました。

3. 日本チェロ協会 1999年度活動計画

- a. 基本的な活動方針は変更しない。
 - ・会報の発行(年4回)
2月、5月、8月、11月末
 - ・チェロサロン(年3~4回)なるべく関西でも行う。
5月16日(日)
東京 カザルスホールリハーサル室
大阪 国際楽器ホール
その後、秋、冬1回ずつ

※また、チェロ協会会員を中心とした集まりを計画される方があれば、その活動に協力していくことも考える(レクチャー、クリニックなども含む)。若干の活動助成も考える。

- ・マスタークラス(年3回前後)
マスタークラスは、教育的見地からも意義があるが、聴衆育成にもなり、アマチュアの楽しみにもなることが分かってきたので、継続して中心的活動として取り上げていく。

- 10月 シュタルケル(決定。カザルスホールと共に)
12月 ヘンケル(可能性があるかを調べる)
2月 ペレーニ(本人に打診する)
他にあれば、取り上げる。会場の協力があれば共催

にし、講師謝礼と受講生の人選などをJCSが受け持つ方式で。

- ・その他、チェロの活動に対する援助など
- ・後援
 - 7月7日 サイトウキネン チェロアンサンブル(サントリーホール)
→特に経済的な援助はしないが、告知などで協力する。
- ・その他
 - 2000年度の総会の計画準備

付記: 2000年度からは、会場提供などでカザルスホール・アウフタクトの全面的協力が得られない。活動方針や内容も若干の変更を検討せざるを得ない。

3. カザルスホールの2000年4月以降の問題と、チェロ協会の対応について

- ・抗議文をつくって主婦の友社に提出する、という案もでたが、とりあえず事態をもう少し見ることにした。

4. 事務局の問題(2000年4月以降、アウフタクト内には事務局を置けないので)

- ・5月の会報で、協力者、協力会社(事務局を置く)をやってくれるところがあるかどうか呼びかけを行う。

5. 2000年春の第2回総会について

- ・普通に東京都内の会場で行う方法と、イベントを含めて総会だけではなく、大会風にし、どこかで(例えば、伊東、山中湖等の案が出た)、1泊2日の日程で行う案を検討した。会員の中に何かイベントがあった方が良いのではないかという声も多いであろうことを鑑み、後者にして進行することにした。

6. 2002年の日韓チエロコングレスについて

・韓国から堤さんに一緒にやりたいという提案があった。具体的な内容に関してのグランドプランをまとめて、次回の評議委員会でもう少し検討することにした。具体的な内容に関してのグランドプランをまとめて韓国が国、財界をあげて動くであろうことを考えると、日韓を同条件で行うのはかなり大変なことだという声もあった。

7. チエロ協会の再プロモーションについて

・最近、やや停滞気味なので、チエロ協会の再プロモーションをはかる方が良いのではないかという意見が多くなった。それぞれが、周りに声をかけようということになった。

8. その他

・マスタークラスについては、今まで、カザルスホールにおんぶに抱っこのような感じだったが、99年度以降、他の可能性はないかをそれぞれが考える。例えば、12月にフライブルクのクリスタファー・ヘンケルがくる（苅田情報）、また、時間があれば、ペレーニをまたやっても良い。

付記：評議委員会後、シュタルケルの招聘元から、日本音楽財団がマスタークラスを謝礼、印刷物などの経費を持ってもいいので共催に出来ないかという提案あり。現在、検討中。

日本チエロ協会

1998年度決算書

【収入の部】

(単位：円)

項目	1998年度 予算額	1998年度 決算額	摘要
会費	2,000,000	1,415,000	入会金 39,000／会費 1,376,000
雑収入	1,000	14,047	銀行利息、ステッカー販売など
前年度繰越金	1,309,513	1,309,513	
計	3,310,513	2,738,560	

【支出の部】

(単位：円)

項目	1998年度 予算額	1998年度 合計決算額	摘要
会報作成費	500,000	393,750	@131,250×3
通信費	180,000	194,044	
便箋、封筒などの製作費	200,000	186,218	
総会委員会諸経費	400,000	50,060	
事務諸経費	200,000	16,089	
名簿作成費	100,000	82,887	
会員証製作費	5,000	3,569	
事業費（マスタークラスなどの開催費）	565,000	200,000	
ホームページ開設運営費	100,000	0	
小計	2,295,000	1,126,617	
1999年度への繰越	1,015,513	1,611,943	
計	3,310,513	2,738,560	

収入合計 2,738,560円から、支出合計 1,126,617円を差し引いた差額 1,611,943円は、
1999年度に繰り越します。

監査報告

日本チェロ協会 1998年度決算ならびに関係書類を監査した結果、この決算は、公正な経理がなされ、収入支出とも正当なものと認めます。

1999年 5月 26日

監査

三木 隆二郎



監査

藤田 正厚



1999年度予算書

【収入の部】

(単位：円)

項目	1998年度 予算額	1998年度 決算額	摘要
会費	2,000,000	1,500,000	正会員／学生会費 1,100,000 賛助会員 400,000
雑収入	1,000	10,000	
前年度繰越金	1,309,513	1,611,943	
計	3,310,513	3,121,943	

【支出の部】

(単位：円)

項目	1998年度 予算額	1998年度 合計決算額	摘要
会報作成費	500,000	656,250	@131,250×5回（1回分は99,2月分）
通信費	180,000	180,000	会報発送など
便箋、封筒などの製作費	200,000		
総会/評議委員会経費	400,000	200,000	委員旅費など
事務諸経費	200,000	100,000	
名簿作成費	100,000	100,000	
会員証製作費	50,000	10,000	
事業費	565,000	600,000	マスタークラス謝礼＆経費、チェロサロン経費、総会準備費など
ホームページ開設運営費	100,000	100,000	
小計	2,295,000	1,946,250	
前年度からの繰越	1,015,513	1,175,693	
計	3,310,513	3,121,943	

カザルスホール自主企画中止、 企画室「アウフタクト」解散にともなう、 JCS事務局の今後について



すでに、新聞紙上などでごらんになっていらっしゃる方が多いと思いますが、日本チェロ協会事務局を置いている「カザルスホール企画室・アウフタクト」が属するカザルスホールが、2000年3月をもって自主企画公演中止を決定しました。

カザルスホールの持ち主である主婦の友グループ全社のリストラとともに提示されたものですが、企画室アウフタクトが提案したいくつかの自主公演継続案も、不振の主婦の友社はじめ主婦の友グループの深刻な経済的状況から見送られました。2000年度からは、年間25公演程度の共催公演（ホール代を無料にし、音楽事務所などに興行リスクの負担をお願いして実現する共催名義のコンサート）によって主催公演を続けるということになります。自主企画を終了することで、カザルスホールの主催公演の制作の中心を担ってきたカザルスホール企画室アウフタクトも来年3月で解散となります。

この決定は、チェロ音楽の振興をはかる上でも、また、プロアマを問わずチェリストが集う中心としての場所としてのカザルスホールが失われることを意味するともいえますので非常に残念です。

アウフタクトの解散に伴い、企画制作・広報などのスタッフは全員解雇されるため、日本チェロ協会事務局の任を果たすことは不可能になります。

この事態を受け、先日の評議委員会でも対応が話し合われました。

その結果、評議委員会報告にもありますように、2000年4月以降は事務局を別の場所に移して運営すべく、みなさまのご協力を仰ぐこととなりました。



日本チェロ協会事務局を引き受けてくださる方を探しています。

1、2000年4月以降、日本チェロ協会事務局を引き受けてくださる方（事務所）を探しています。机、椅子と、電話に出る人と、ファックス、コピー、電話など事務所機能があることが望ましいです。ご協力いただける方はいませんでしょうか。

2、2000年4月以降、ボランティアで定期的に事務局の仕事を手伝ってくださる方を募集します。協会の事務的手続きや、会報づくりの手伝いなどをお願いすることになると思います。

お引き受けくださる意志をお持ちの方、心当たりのある方は事務局長・児玉までご一報ください。

関西チエロサロンレポート

斎藤 建寛（さいとうたつお／評議委員）

去る5月16日（日）、関西チエロ・サロンが心斎橋の国際楽器4階サロンで行われた。会場は間口こそ少々せまいが充分に奥行きがあり、ステージも設置されている。参加者は約50名、全員がチエロを囲んで熱っぽい時間を過ごした。関西チエロ・サロンは少し残念な過去のいきさつがある。昨年9月に一度企画されたのに当日の参加者に恵まれず、やむなく流会、関西における日本チエロ協会の認知がまだまだという現実に直面した。そこで今回はアマチュアのチエロ愛好家の皆さんのが組織する「AAPA（エイパ）」との共催で行うことにする。チエロ協会会員の大矢寛治さんと山田楊平さんの尽力によるものだ。また特別ゲストとして折からの大阪国際室内楽コンクールに審査員として来阪中の堤剛会長をお招きする。

会はまずAAPAの9人の会員の方々が演奏を披露し、堤会長がワン・ポイント・レッスンを行うというもの。皆さんなかなかの好演、力演が続く。見事なものだ。子育てのため10年間チエロから遠ざかっていたが、その魅力が忘れられずチエロの練習に再度励んで心のこもった演奏をした斎藤さん、公務員の久保さんは知られるギターミッツの第3番のコンチェルトを演奏、むずかしいメッセージをこなし、堤会長も「ほう」というなる。会場を提供してくださった松永さんは銘器ルジェリを携えての力演、大矢さんも同じフェニックスホールに勤務する住谷さんと難曲ポッパーのデュエットに挑戦する。堤会長のアドバイスは終始的確で、ワンポイントならぬ、ツーポイント、スリーポイントレッスンとなり、時に「たとえばこんな風に」と愛器を奏すると会場は感嘆のどよめきに包まれる。なかなか良い雰囲気だ。ここまで2時間ぶっ続け。小休止のあとは堤会長による30分程度のミニ公開レッスン、受講生は現在小学校5年生の神倉辰佑君、

彼は第9回札幌ジュニアチエロコンクールで優勝のほか、すでに数々の受賞歴を持つ逸材だ。神倉君がバッハの組曲第1番を演奏すると客席から温かい拍手が起り、場が盛り上がる。「もう出来るよ」と堤会長の総評、しかし演奏の可能性は尽きることなく、堤会長はバッハの舞曲の楽しさ、おもしろさを身振り、手振りで解説する。この辺で堤会長はタイム・リミット。別れを惜しむ聴衆からぜひとも演奏をという声が挙がり、会長はバッハの第2番の組曲からプレリュードとジーゲを演奏。深いチエロの余韻を残して会場を後にされた。

このあとは有志によるチエロ・アンサンブル。山ほどある作品の中からダヴィッドのチエロ10台のための「贊歌」を山田さんが選ぶ。チェリストがたくさん集うこの会には大変ふさわしいチョイスだ。まとめ役がいるということでご指名に預かり、初めてみるスコアとにらめっこしながらタクトをとる。各パートとも少しでも美しいハーモニーを目指そうと一生懸命だ。気が合うというのか、何度も合わせていくうちにそれなりのまとまりができ上がった。それにしてもチエロ・アンサンブルは音域の広いチエロという楽器に恵まれた比類のないアンサンブル、我々チェリストにとっての大きな喜びだ。

盛会のうちにチエロ・サロンは終了した。堤会長をはじめお力になってくださった方々への感謝は尽きない。司会進行役の山田さんが挨拶の中でこのような意味のことをおっしゃっていた。「チエロを介在した人々の結びつきは何か特別なものがあるようだ。チエロという楽器の奥に秘められたものに惹かれるることは単に好きになるという以上のものだ。だからこそチエロを愛するものの同士の結びつきも強いのでは」と。私もまったく同感だ。



どなたかご存じですか？ 驚異のチェリスト“ボロニーニ”

北村 貞幸 (R-160)

【名チェリストたち】(マーガレット・キャンベル著 東京創元社)では、「音楽界のカリスマ的人物で、多分その時代随一のチェロの才能の持ち主」という書き出しで、イタリア系アルゼンチン生まれでアメリカに移住したエニオ・ボロニーニ(1893-1979)の紹介が始まります。まず、この本に書かれている、極めて興味深くとんでもないチェリストの断片を拾い出してみましょう。

- ・人を惹きつける力があり、サンニーサーンス、R.シュトラウス、ハイフェッツ、ホロヴィッツ、ラヴェル、カルーソー、プッチーニ、ルービンシュタイン、セゴビアなど高名な音楽家と知己。エニオの名付け親は父親の親友トスカニーニ。
- ・アメリカに移住したのは、チェリストとしてではなくボクシングのスパーリング・パートナーとして。もともと彼は南米ウェルター級チャンピオンであった。また、航空機パイロットの免許を持ち、世界大戦中は士官候補生たちにB29爆撃機搭乗訓練をした。
- ・背が高く、がっしりした体格。スポーツ万能で、おまけに大変な美男子。5カ国語を自由に話し、イタリア各地の方言を15ほどと、ヘブライ語、ギリシャ語、日本語、ハンガリー語、ロシア語で会話ができた。
- ・シカゴ交響楽団の首席チェリスト。辞任後ナイトクラブで仕事。ある晩リクエストに応じ「白鳥」を弾いたが、最初の4小節を同じ弓で、甘美な、たっぷりとした、まじりけのない音で弾いた。リクエストし「ブラボー」と叫んだのはフォイアマンであった。
- ・ある人は、「私が今までにチェロからでてくるのを聴いたもっともまじけのない音」といい、また別の

人は「今日チェロという楽器からあれ以上美しい音が出されることはない……まず最初の音で聴衆は座り直して耳を傾ける」と言った。彼はギターの名手でもあり、フラメンコ音楽をチェロでギターのようにピチカートで演奏することができた。

・カザルス曰く「ボロニーニ！ チェロにかけては私が今まで聴いた中で最高の才能の持ち主だ！」フォイアマンは「賭けてもいいが、世界で一番すごいチェリストは、カザルスでもピアティゴルスキーや、私でもない。ボロニーニだ！」と言ったと伝えられているとのこと。

さて、こんなに凄いチェリストなのに、ボロニーニの名が語られることはありませんし、『世界の名チェリストたち』(ユリウス・ベッキー著 音楽之友社)や『チェロの本』(エリザベス・カウリング著 シンフォニア)といったチェロやチェリストのことを結構詳しく書いてある本にも見あたりません。亡くなつたのが1979年ですから、時代としては比較的新しく、LPやCDがでていてもおかしくないと思うのですが…。私が持っている唯一の彼の演奏を聴くことができる録音は“THE RECORDED CELLO-The History of the Cello on Record(GEMM9981~3, PEARL)”に収録されている“Echo”という小品だけです。録音状態が良くないとはいえ、強く輝かしい音色、ギターのような独特な表現が印象的で驚かされます。一体全体この人物は何者だったのでしょうか？ 宇宙人だったのかも知れません！ ボロニーニについて、また録音などご存知の方、教えてください。

● 情報コーナー ●

【コンサート】

★京の俊英演奏家シリーズ Vol.1

「上森祥平チェロリサイタル」

日 時●1999年6月20日(日)午後3時開演
場 所●京都府立府民ホール“アルティ”
入場料●一般2000円(当日2500円) 学生1000円
問合せ●京都府立府民ホール 075-441-1414
演奏曲●バッハ／無伴奏チェロ組曲 第5番 ハ短調 BWV 1011、バスクス／本、ドビュッシー／チェロソナタ、
ブルームス／チェロソナタ 第2番 へ長調 作品99

□京都府と(財)京都文化財団に主催していただき、僕の地元、京都で初の本格的リサイタルをさせていただくことになりました。

今一番興味のある作品、作曲家でプログラムを組みました。盛りだくさんな内容ですが、今の僕がどこまでできるのか、僕自身も楽しんで挑戦していきます。みなさまのご来聴をお待ちしています(上森祥平・S-016)

★斎藤秀雄没後25年チェロ・グランドコンサート チェロ・アンサンブル・サイトウ

日 時●1999年7月7日(水)午後7時開演

● 情報コーナー ●

場 所●サントリーホール
入場料●S￥6000, A￥5000
B￥4000, C￥3000

主 催●梶本音楽事務所
協 賛●サントリー株式会社
協 力●ポリグラム株式会社
演奏曲●クレンゲル／贊歌、オッフェンバック／ボレロ、バッハ／シャコンヌ、カザルス／サルダーナ、チャイコフスキイ／弦楽セレナーデ

出演（敬称略）●秋津智承、荒庸子、石川祐治、伊堂寺仁、
岩崎洸、大久保恵、音川健二、刈田雅治、北本秀樹、
倉田澄子、桜庭茂樹、渋谷陽子、称原哲雄、千本博
愛、堤剛、鳥谷望、丹羽経彦、長谷部一郎、林詩乃、
林峰男、古川展生、堀了介、升田俊樹、松波恵子、
嶺田健、森純子、安田謙一郎、山内理映、山崎伸子、
山本裕康、渡辺暁、渡辺滋

□この公演は、日本チェロ協会が後援しています。
□JCS会員にはチケットの割引があります（S.A席のみ
10%引。1人2枚まで）。カジモトチケットセンター（0
3-3289-9999）でのみの取り扱いとなります。
日本チェロ協会会員であることと、名前と会員番号を必ず
伝えてください。

★植草ひろみ Cello Presents

日 時●1999年7月22日（水）午後7時開演
場 所●草月ホール
入場料●4500円
後 援●アルゼンチン大使館
出 演●植草ひろみ／淡路七穂子（ピアノ）、京谷弘司（バ
ンドネオン）、田中伸司（コントラバス）、早川りさ
こ（ハープ）
演奏曲●ブラガート／グラシエラとブエノスアイレス、ピア
ソラ／アディオス・ノニーノ、ヒナステラ／パンペ
アナ 第2番、ガリアーノ／ブルース・セーヌ、
ピアソラ／リベルタンゴ、京谷弘司／レコルダシオ
ン、ピアソラ／ブエノスアイレスの夏 他
チケットの取り扱い・問合せ●ヴァンサン・エージェンシー
Tel 03-3263-9691 Fax 0
3-3263-9050、チケットセゾン 03-
3250-9999/3250-9990（クラシック専用）、ホームページ：<http://www.u1.sokei.co.jp/Hiromi/>

□没後大変注目を浴びているピアソラ、彼の音楽を支え続けた
チエリストがいることは、ほとんど知られていません。
ホセ・ブラガート、彼自身すばらしい作曲家であり編曲家
であります。彼がチェロのために書いた曲や、ピアソラの
名曲“アディオス・ノニーノ”をチェロとピアノのために
編曲したものも演奏いたします。その他エレクトリック・
チェロを使い、チェロの新しい魅力を探る試み、そしてバ
ンドネオンの京谷弘司さんをお迎えして、チェロでピアソ
ラの本質を追究する“ブエノスアイレスの夏”等、盛りだ
くさんでおくりいたしますので、ぜひご来聴お待ちして
います！（植草ひろみ、R-011）

【ワークショップ】

★21世紀へのバッハを求めて～鈴木秀美、バッハ・チェロ組曲 ワークショップ

日 程●
第3回 1999年 9月20日（月）午後2時より8時 組曲第3番
第4回 10月16日（土）午後2時より8時 組曲第4番
第5回 12月 5日（日）午後2時より8時 組曲第5番
第6回 2000年 2月13日（月）午後2時より8時 組曲第6番
会 場●東京オペラシティ近江楽堂（おうみがくどう）

受講対象者●音楽学校の学生、卒業者またはそれ同等の技量
をもつと思われる方

受講料●前後期3回連続25,000円、各1回10,000円

聴講料●1日3,000円

申込み・お問合せ●バッハ・コレギウム・ジャパン Tel 03-
3226-5333 Fax 03-5362-5445

□長時間の講義があつという間の面白さ！と過去2回は大変
な評判になっています。一聴の価値は充分にあり、とのこと。

【マスタークラス】

★ヤーノシュ・シュタルケル マスタークラス

日 時●1999年10月5日（火）
午後6時30分開講（予定）
場 所●カザルスホール
主 催●日本チェロ協会・カザルスホール・日本音楽財団
（予定）

□受講料・聴講料共に無料

※受講者の募集は6月下旬（予定）。詳細は事務局までお問い合わせください。

【コンクール】

★1999年 第10回札幌ジュニアチェロコンクール

日 程●1999年8月7日（土）、8日（日）
会 場●札幌パームホール（札幌市中央区南4条西14丁目）
審査部門●1. 第一部門 分数楽器（3/4サイズを含めて
それより小さいサイズの楽器）を使用する者
2. 第二部門 第一部門に定められた以外のサイ
ズの楽器を使用する者
3. 第三部門 第一部門に定められた以外のサイ
ズの楽器を使用する者

参加資格●各部門とも、1979年8月1日以後に生まれた
者に限る。

参 加 費●各部門とも、ひとりにつき15000円

申込期限●1999年6月末日（消印有効）

審 査 員●浦川宜也、河野文昭、川元適益、クレメンス・ド
ル、中島顕、文屋治実、山崎伸子

問合せ先●札幌ジュニアチェロコンクール

〒005-0040 札幌市南区藻岩下3-3-19

● 情報コーナー ●

片山淑子方

※応募要項・申込書が事務局にありますので、ご入り用の方はご連絡ください。

★第1回アンドレ・ナバラ国際チェロコンクール

日 程●1999年10月28日～11月5日

開 催 地●フランス・トゥールーズ

資格制限●国籍不問、1969年10月28日から1983年10月28日の間に生まれた者に限る。

申込期限●1999年6月28日必着

審査委員長●Gilbert Army (作曲家)

審査委員●Marcio Carnelio, Lluis Claret, Laurence Lesser, Ivan Monighetti, Philippe Muller, Arto Noras, Walter Nothas, Roland Pidoux

問合せ先●事務局 Secretariat / tel. 33-1-45-79-16-55/Fax 33-1-45-79-16-55

※課題曲の詳細などは応募要項・申込書が事務局にありますので、ご入り用の方はお問い合わせください。インターネットをご利用の方は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mairie-toulouse.fr>

★第2回アントニオ・ヤニグロ国際チェロコンクール

日 程●2000年2月17日～29日

開 催 地●クロアチア・ザグレブ

資格制限●1969年12月31日以降に生まれた者

申込期限●1999年12月1日必着

審査委員長●David Geringas

審査委員●Mario Brunello, Ivo Malec, Phillippe Muller, Siegfried Palm, Natalia Shakovskaya, 堤剛
問合せ先●Zagreb Concert Management
Kneza Mislava 18, 10000 Zagreb, Croatia
Tel. 385-1-46-11-808 Fax. 385-1-46-11-807
email:kdz@zg.tel.hr

※応募要項・申込書が事務局にありますので、ご入り用の方はお問い合わせください。

事務局から

年会費納入のお願い

更新期を迎えた会員の方々、まだ今年度会費を納入されていない方々には、99年度分の会費をお納めくださいますようお願いいたします。

正会員会費：年間1万円（納付翌月から1年間）

学生会員会費：年間5千円（同上）

納入は下記の日本チェロ協会の口座にお振り込みください。現金書留で事務局宛お送りください。お近くにおいでの方、直接現金払いでも結構です。
富士銀行 お茶の水支店 普通預金 1631727
住友銀行 御茶ノ水支店 普通預金 848324

いずれも口座名義は日本チェロ協会（ニホンチェロキョウカイ）です。

お振り込みの際、会員番号を送金者名の前に付けてくださると大変助かります。送金者名は会員として登録された方のお名前でお願いいたします。

※リレーエッセイは休載させていただきました。

会報発行スケジュール変更のお知らせ

事務局の都合で大変申し訳ないのですが、次号と次々号会報発行スケジュールを下記のように変更させていただきます。来年3月号は変わりません。

原稿・情報〆切	発送作業	掲載情報
1999年9月号（第8号）	8月16日（月）	9月19日（土） 9月25日以降
12月号（第9号）	11月12日（金）	12月11日（土） 12月18日以降
2000年3月号（第10号）	1月28日（金）	2月26日（土） 3月4日以降



編集後記

新聞報道でご存じの通り、事務局が置かれているアウフタクトの解散が決まりました。この2月には知らされていて、なんとかならないかと思つて頑張つてみたのですが……事務局業務が今年に入つて前以上に滞っていた原因でもありました。会員の方から叱りの電話や手紙もいただいたのを心苦しく思いつつ、本業決壊をくい止める努力の方に時間を費やしてしまつてきました。すべてが決まつてしまつた今、事務局のお手伝いも2000年3月までとなり、無念の思いでいっぱいです。それまではせめてもう少しちゃんと仕事をして、次の方に引き継ぎたいと思っています。(み)

日本チェロ協会会報 JCS NEWS 第7号

[発行日] 1999年6月14日

[発行所] 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台

1-6 お茶の水スクエアA館

カザルスホール企画室・アウフタクト内

日本チェロ協会

Tel03-3295-7586 Fax03-3293-5257

Mail QGA01776@nifty.ne.jp

[発行人] 堤剛

[編集] 日本チェロ協会事務局

[編集協力] リュウカンパニー